

# 生活・景気・雇用対

## 総額



春一番の作業

さらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力を傾注

### 平成21年度 施政方針 (要旨抜粋)



佐藤誠七 町長

平成21年度は本町にとつて大きな転換の年です。世界的規模の社会経済変動が私たちの生活に直接影響する状況のなかで、町の将来の基本となる計画策定に町民の皆様の英知を結集して果敢に取り組む年と位置づけれます。

本町の財政状況は、少しずつ改善の兆しが見え始めていますが、引き続き行政財政改革に取り組みながら簡素で効率的な行政システムを確立します。

本町のさらなる発展と住民福祉の向上に向け、全力を傾注してまいります。

## 総括質疑

### 県教委に見直しを要望

佐竹典明 議員

佐竹 県教委による高校再編方針の一部を変更しなければ、荒砥高校への支援活動は水の泡になりかねないと思えますがいかがですか。

町長 支援活動は水の泡にならないと思えます。県の教育振興計画の最終年度まで機会あることに見直しを要望してまいります。

### 将来の白鷹町を担う子どもたち

五十嵐政司 議員

五十嵐 町長はどのような人づくりを目指すのか伺います。

町長 誇りと自信を身につけ、白鷹を愛せる子どもたちの育成に努めてまいります。

### 消防の広域化は

五十嵐 置賜をひとつにする消防の広域化をどのように考えますか。

町長 広域化については担当者会議で議論を積み重ねるべきと思っております。また推進室を設置し広範な検討がなされ、何も問題はなっていないと思っております。

### 保育を担う受け皿は

守谷丹吾 議員

守谷 今後の保育を担う受け皿を具体的にどう進めていきますか。

町長 過去には、保育園の運営を社会福祉協議会に担ってもらった経緯があります。福祉サービスの一元化という点から、行政との連携も深めるため、町職員の同協議会への出向なども考えています。

### 協働のまちづくりをどう進めるか

佐藤京一 議員

佐藤 共創の理念に基づくまちづくりを目指すなか、町長が低調で定着せず課題があると言っている協働のまちづくりを、具体的にどのように進めていくのか伺います。

町長 町民の代表と職員による検証から9項目ほどの提言をいただいております。さらに庁内で検討しステップアップに取り組めます。

### 観光と農村交流は一体的

佐藤 交流人口の拡大に向けた産業連携は必然で、農村交流を観光と分離した形態では、今までのノウハウも実績も活かされないのではないですか。

町長 交流を観光という視点だけでなく、農村の地域特性を活かして再付加価値をつけた交流拡大に、観光協会と連携をとりながら取り組んでまいります。